

株式会社つくばエンバイロメントソリューションズ

環境経営レポート



活動期間 2022年1月～12月

発行日 2023年5月9日

改訂日 2023年10月23日

- I. 組織の概要
- II. 対象範囲
- III. 環境経営方針
- IV. 環境経営目標
- V. 環境経営計画
- VI. 環境経営計画に基づき実施した取組内容
- VII. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価、並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画
- VIII. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無
- IX. 代表者による全体の評価と見直し・指示

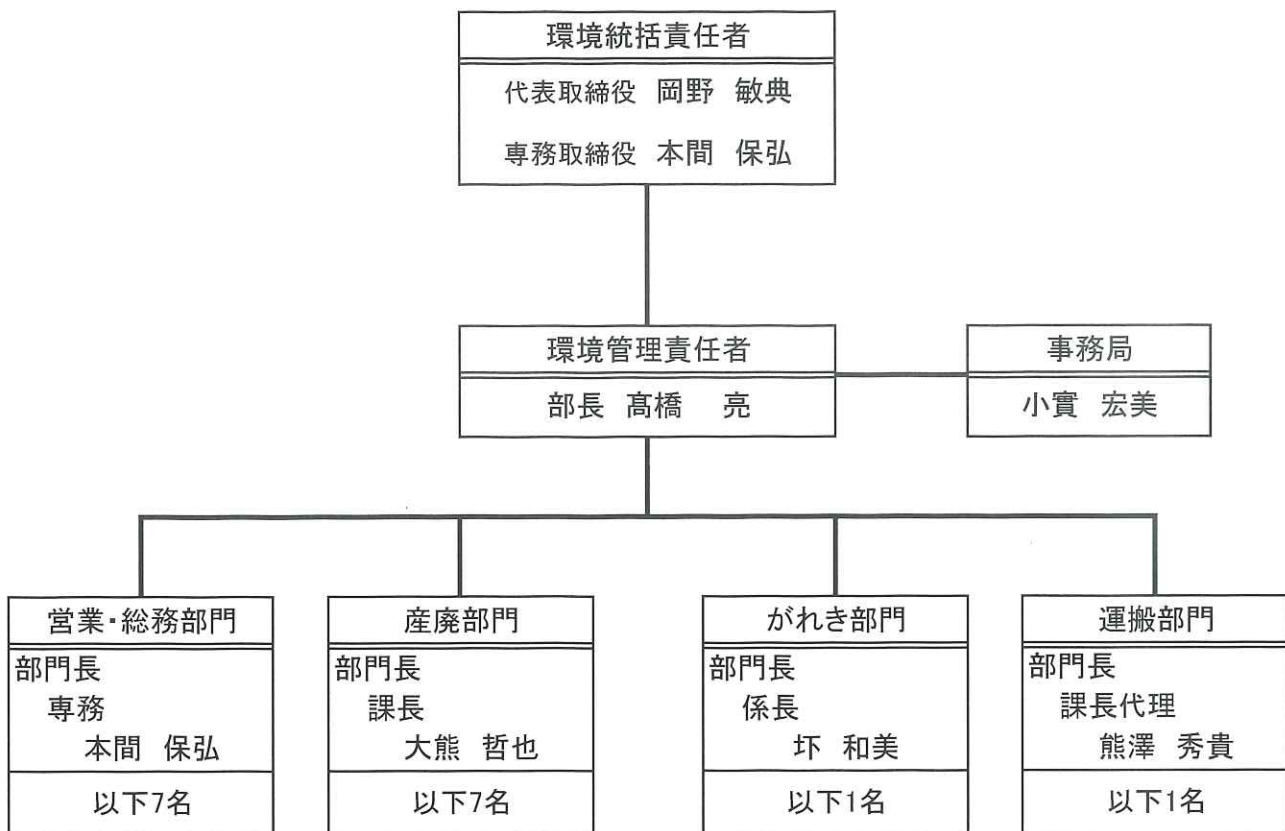
I. 組織の概要

事業所名	株式会社つくばエンバイロメントソリューションズ
代表者名	代表取締役 岡野 敏典
所在地 【本社】	〒300-2645 茨城県つくば市上郷4257-1 Tel. 029-847-5502 / Fax. 029-847-5564 Mail: info@t-es.co.jp http://www.t-es.co.jp
設立年月日/資本金	平成 14 年 2 月 12 日 資本金 1,000万円
事業活動の内容	産業廃棄物中間処理業・産業廃棄物収集運搬業・一般廃棄物中間処理業 茨城県内の顧客から産業廃棄物収集運搬の委託を受け、県内及び他県への中間処理委託業者へ運搬を行う。また一般及び産業廃棄物中間処理業として、社内工場で減容・加工作業をしリサイクル業者又は最終処分場へ運搬を行う。
環境管理責任者	高橋 亮 連絡先 029-847-5502

【事業規模】

	単位	2022年	2021年	2020年
収集運搬量(産業廃棄物)	t	3,369.01	2,845.80	4,440.32
売上高	百万円	810	780	880
従業員	人	26	24	24
事務所床面積	m ²	102.09	102.09	102.09
中間処理量(一般廃棄物)	t	39.41	39.48	26.81
中間処理量(産業廃棄物)	t	39,651.47	32,658.20	34,821.17
最終処分量(委託処理)	t	14,599.42	12,844.84	14,343.89

環境経営システム組織図



組織の構成員	役割・責任・権限
経営者	①環境方針を定める。 ②環境管理責任者を任命すると共に、環境経営組織、役割、責任を定める。 ③必要な経営資源を提供する。 ④活動の実績を環境管理責任者に求め、見直しを行い、必要な指示を行う。
環境管理責任者	①環境経営システムを構築し、運用の責任者と権限を有する。 ②運用状況の全体について把握し、代表者に報告する。
事務局	①環境管理責任者を補佐し、環境経営システムを円滑に運用する。
部門長	①環境方針、環境目標、環境活動計画の自部門に関連する活動及びその他を環境管理責任者からの指示事項についても実践する。
従業員	①部門長から指示のあった事項について実践する。

Ⅱ. 対象範囲

◎対象範囲

産業廃棄物中間処分業・産業廃棄物収集運搬業・一般廃棄物中間処分業

◎許可の内容

《産業廃棄物処分の許可内容》

許可自治体	許可番号	許可年月日	許可の有効期限
茨城県	00821099599	R5.6.7	R10.3.4
取扱品目			
廃プラスチック, 紙くず, 木くず, 繊維くず, 金属くず, ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず, がれき類			

《産業廃棄物収集運搬の許可内容》

許可自治体	許可番号	許可年月日	許可の有効期限
茨城県	第00801099599号	R5.6.7	R10.3.6
千葉県	第01200099599号	R4.7.4	R9.5.21
埼玉県	第01100099599号	R4.3.29	R9.2.27
栃木県	第00900099599号	R4.4.10	R9.4.9
秋田県	第00507099599号	R4.11.14	R9.10.24
群馬県	第01000099599号	R4.11.14	R9.11.13
福島県	第00707099599号	R5.7.3	R10.5.24
宮城県	第00400099599号	R5.6.26	R10.6.25
神奈川県	第01400099599号	R5.2.14	R10.2.13
東京都	第13-00-099599号	R5.2.24	R10.2.23
取扱品目			
燃え殻, 汚泥, 廃プラスチック類, 紙くず, 木くず, 繊維くず, 動植物性残さ, 金属くず, ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず, 鋳さい, がれき類, ばいじん			

《一般廃棄物処理業の許可内容》

許可自治体	許可番号	許可年月日	許可の有効期限
つくば市	11113	R4.4.1	R6.3.31
取扱品目			
木くず, がれき類, 廃プラスチック類, ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず, 紙くず, 繊維くず			

◎施設の状況

☆収集運搬車両・重機

運搬車両の種類	台数	重機の種類	台数
ユニック車	2台	パワーショベル	8台
4tアームロール車	2台	ホイールローダー	2台
8tアームロール車	1台	フォークリフト	3台
大型アームロール車	3台		
パッカー車	2台		

☆処理方法

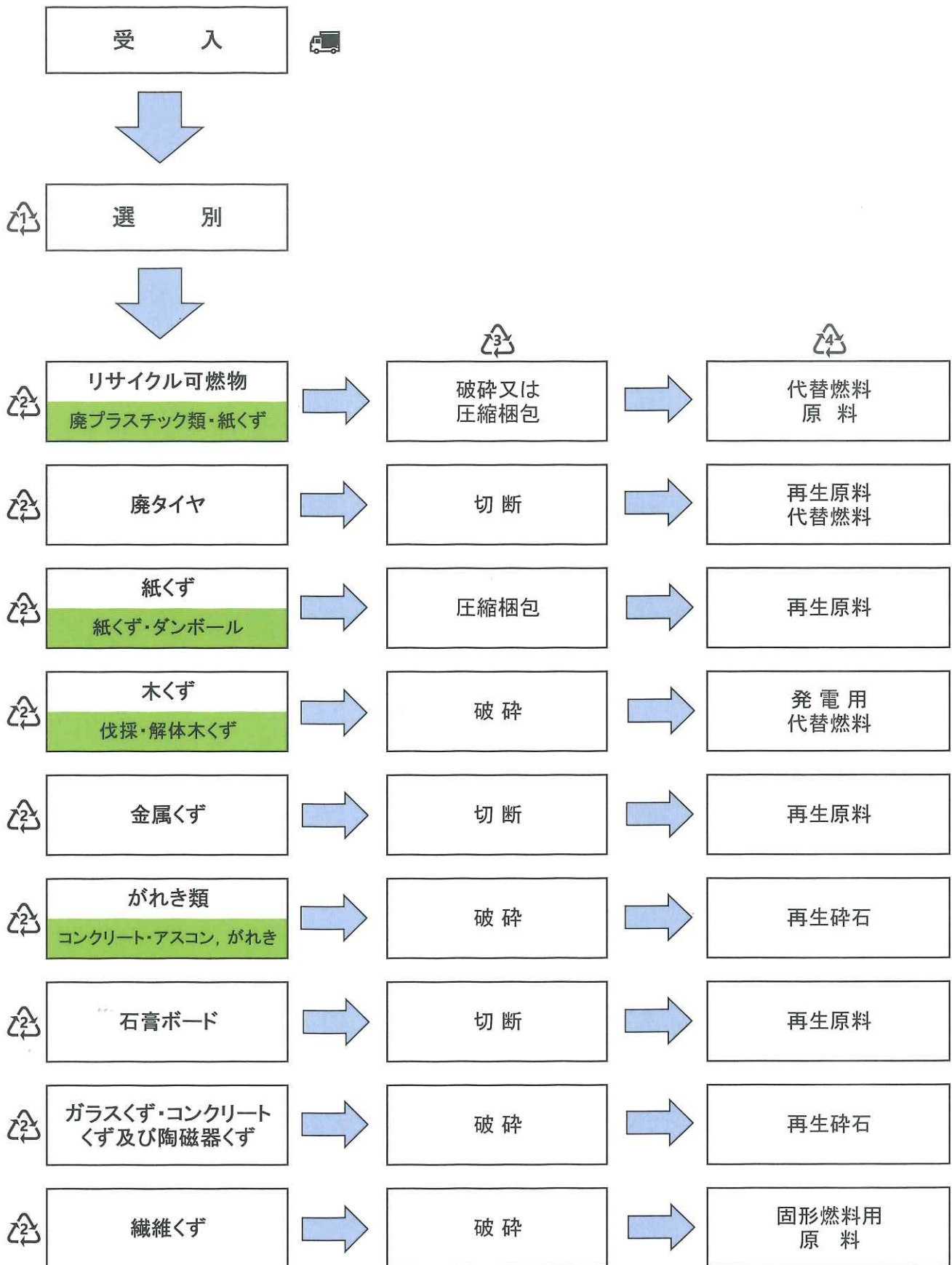
【産業廃棄物】

処理施設の種類の種類	処理する産廃の種類	処理能力
圧縮梱包施設	廃プラスチック類	9.92t/日
	紙くず	9.12t/日
切断施設	廃プラスチック類 (廃タイヤ)	25.92t/日
	金属くず	7.76t/日
	ガラスくず・コンクリートくず及び 陶磁器くず (廃石膏ボード)	20.72t/日
木くずの破碎施設	木くず	5.32t/日
	廃プラスチック類	3.39t/日
	ガラスくず・コンクリートくず及び 陶磁器くず	5.32t/日
	紙くず	2.90t/日
	繊維くず	1.16t/日
がれき類の破碎施設	金属くず, ガラスくず・コンクリート くず及び陶磁器くず, がれき類	400t/日

【一般廃棄物】

事業の区分	取扱廃棄物の種類
中間処分 (破碎)	木くず、がれき類、廃プラスチック類、ガラスくず・コンクリートくず及び 陶磁器くず、紙くず、繊維くず

☆処理フロー図



Ⅲ. 環境経営方針

《基本理念》

私たち株式会社つくばエンバロンメントソリューションズは、その名のとおり環境問題を解決したいという気概を持って、平成15年にスタートした会社です。今や環境問題は、地球規模で直面している最大の危機と言っても過言ではありません。その中において私たちは、事業活動において環境負荷の低減を図るために、本当に小さな力でしかないかも知れませんが、ていねいに、確かな仕事をし、限りある資源エネルギーの削減とリサイクルを通じて、将来、社会への環境保全活動に大きな力となれることを信じ、従業員一丸となって常に環境負荷を考え、地球を助けます。

《環境保全への基本方針》

- 1・下記の事項について環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。
 - ① 電気及び燃料を節約し、CO2削減に努めます。
 - ② 自ら排出する廃棄物を削減します。
 - ③ リサイクルのルートを確立し、循環型社会形成へ貢献します。
 - ④ 水資源の節減を図ります。
 - ⑤ 事務用品のグリーン購入を推進します。
 - ⑥ 近隣や社会への環境問題に取り組みます。
- 2・経営における課題とチャンスに取り組みます。
- 3・環境関連法規制や当社が約束したその他法規制を遵守します。
- 4・環境への取り組みを環境経営レポートにしてとりまとめ公表します。
- 5・この環境経営方針は、全従業員に周知します。

2020年10月14日改定

株式会社つくばエンバロンメントソリューションズ

代表取締役

岡野敏典



IV. 環境経営目標

NO	環境目標(項目)			担当部署及び責任者	基準値 (H28年実績)	目標値		
	大区分	小区分	管理項目			令和4年	令和5年	令和6年
1	CO2排出量の削減	総CO2の排出量削減	総CO2排出量	環境管理責任 高橋亮	CO2排出量 (440.65 t)	3%削減 (427.43 t)	3%削減 (427.43 t)	3%削減 (427.43 t)
		営業車の燃費向上	ガソリン使用量	総務部門 本間保弘	ガソリン使用量 (3,960.50 L)	5%削減 (3,762.05 L)	6%削減 (3,722.87 L)	7%削減 (3,762.48 L)
		収集運搬車の燃費向上	軽油使用量	運搬部門 大熊哲也	※1)軽油使用量 (55,776.56 L)	基準値 (126,042.74) 3%削減 (122,261.46 L)	※1)R3年度 (55,776.56 L) 180,178.56 L	3%削減 (174,773.20 L)
		重機等の燃料使用量の削減	軽油使用量	環境管理責任 高橋亮	※1)軽油使用量 (124,402.00 L)			
		暖房用、給湯用燃料の使用量削減	灯油及びLPG使用量	総務部門 本間保弘	LPG使用量 (13.91 kg)	4%削減 (13.35 kg)	4%削減 (13.91 kg)	4%削減 (13.35 kg)
		電力使用量の削減	電力使用量	総務部門 本間保弘	電力消費量 (134,907 kWh)	3%削減 (130,860 kWh)	3%削減 (134,907 kWh)	3%削減 (130,860 kWh)
2	廃棄物の削減	総廃棄物の低減 (リサイクルの促進)	一般廃棄物量	環境管理責任 高橋亮	1.209 t	4%削減 (1.16 t)	4%削減 (1.16 t)	4%削減 (1.16 t)
3	総排水量の削減	水使用量の削減	使用量	環境管理責任 高橋亮	3,932.3 m ³	2%削減 (3,853.7 m ³)	2%削減 (3,853.7 m ³)	2%削減 (3,853.7 m ³)
4	受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮	産業廃棄物の再資源化等の増加	再資源化等率	環境管理責任 高橋亮	70 %	3%向上 (72.1 %)	3%向上 (72.1 %)	3%向上 (72.1 %)
5	地域・社会貢献	地域への環境活動	清掃活動率	環境管理責任 高橋亮	77 %	5%向上 (80.9 %)	6%向上 (81.6 %)	6%向上 (81.6 %)

※CO2排出量の削減において、購入電力の排出係数は、リコージャパン(株)2018年度実績(平成30年度)0.489kg-CO2/kWhとする。

※化学物質使用量は、安全データシート(SDS)で確認をし現在、該当品無し。

※受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮において、再資源化等率は、中間処理量からの再資源化等率を算出。

※1)軽油使用は、令和3年度より運搬車両が増えた為、令和5年度より基準値と目標値を改訂。

V. 環境経営計画

環境目標				担当部署 及び責任者	環境経営計画
No.	大区分	目標値	小区分		
1	CO2排出量の削減	427.43 t 第一期 104.88t 第二期 102.91t 第三期 115.41t 第四期 104.23t	電気使用量の削減	環境管理責任 高橋亮	冷暖房の温度管理をする。(暖房:21℃, 冷房:27℃)
					不在時のエアコンなどの停止や消灯の徹底をする。
			化石燃料使用量の削減	運搬部 大熊哲也	OA機器等のエコモードや省エネを徹底する。
					重機運転作業の効率化を図る。 エコドライブの実践や法定速度を遵守する。 お湯の出し過ぎに注意する。
2	廃棄物の削減	1.16 t 第一期 225t 第二期 288t 第三期 319t 第四期 328t	一般廃棄物の削減	環境管理責任 高橋亮	廃棄物の分別を徹底する。 不必要な用紙の裏をメモ用紙や再利用する。
3	総排水量の削減	3,853.7 m ³ 第一期 575.4m ³ 第二期 1231.5m ³ 第三期 1231.5m ³ 第四期 815.3m ³	水使用量の削減	環境管理責任 高橋亮	蛇口の閉め忘れ防止を徹底する。 埃対策として雨水を溜めて散水用として使用する。
4	受託した産業廃棄物の収集 運搬・処分における環境配慮	72.1 % 第一期 16.0% 第二期 17.5% 第三期 18.5% 第四期 20.1%	産業廃棄物の再資源 化等の増加	環境管理責任 高橋亮	選別作業で再資源化の向上をする。 搬出先のリサイクル処理場の拡大をする。
5	地域・社会貢献	80.9 % 第一期 10回 第二期 10回 第三期 10回 第四期 11回	地域への環境活動	環境管理責任 高橋亮	処分場周辺や近隣のゴミ拾いや草むしりをする。 地域などの清掃活動に積極的に参加する。

※CO2排出量の削減において、購入電力の排出係数は、リコージャパン(株)2018年度実績(平成30年度)0.489kg-CO2/kWhとする。

※化学物質使用量は、現在、該当品無し。

VI. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

No	環境目標(項目)			基準値 (H28年実績)	目標値		実績		達成率(%)	評価 ※1)
	大区分	小区分	管理項目 ※2)		R4年1月～R4年12月	R4年1月～R4年12月	R4年1月～R4年12月	R4年1月～R4年12月		
1	CO2排出量の削減	総CO2の排出量削減	総CO2排出量	① CO2排出量 (440.65t)	427.43 t	531.34 t	75.7%	×		
		営業車の燃費向上	ガソリン使用量	② ガソリン使用量 (3,960.50L)	3,762.05 L	2,302.74 L	138.8%	○		
		収集運搬車の燃費向上	軽油使用量	③ 軽油使用量 (22,605.74L)	122,261.46 L	177,231.59 L	55.0%	×		
		重機等の燃料使用量の削減	軽油使用量	③ 軽油使用量 (103,437.00L)						
		暖房用、給湯用燃料の使用量削減	灯油及びLPG使用量	④ LPG使用量 (13.91kg)	13.35 kg	18.31 kg	62.8%	×		
		電力使用量の削減	電力使用量	⑤ 電力消費量 (134,907kWh)	130,860 kWh	140,469 kWh	92.7%	△		
2	廃棄物の削減	総廃棄物の低減 (リサイクルの促進)	一般廃棄物	⑥ 1.209t	1.16 t	1.14 t	101.7%	○		
3	総排水量の削減	水使用量の削減	使用量	⑦ 3,932.3m ³	3,853.7 m ³	4,201.0 m ³	91.0%	△		
4	受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮	産業廃棄物の再資源化等の増加	再資源化等率	⑧ 70%	72.1 %	63.1 %	87.5%	×		
5	地域・社会貢献	地域への環境活動	清掃活動率	⑨ 77%	80.9 %	110 %	136.0%	○		

※1) 評価の基準: 目標達成率100%以上は○、90%以上は△、90%未満は×とした。

※2) 環境負荷チェックシートより引用。

VII. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価、並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画

環境目標				環境経営計画	計画取組		
No.	大区分	目標値	実績		小区分	結果	評価
1	CO2排出量の削減	427.43 t	531.34 t	電気使用量の削減	冷暖房の温度管理をする。(暖房:21℃, 冷房:27℃)	定着した	△
					不在時のエアコンなどの停止や消灯を徹底する。	定着した	○
					OA機器等のエコモードや省エネを徹底する。	定着した	○
				化石燃料使用量の削減	重機運転の作業効率化を図る。	定着していない	△
					エコドライブの実践や法定速度を遵守する。	定着した	○
					お湯の出し過ぎに注意する。	定着していない	△
☆次年度の取組内容	※重機や運搬車両の使用しない時などはエンジンを停める。 ※電気の消し忘れや節電・省エネを心掛けること。						
2	廃棄物の削減	1.16 t	1.14 t	一般廃棄物の削減	廃棄物の分別を徹底する。	定着した	○
					不必要な用紙などの裏をメモ用紙や再利用する。	定着した	○
				☆次年度の取組内容	※意識が定着してきてはいるが気を緩めずに取り組むこと。		
3	総排水量の削減	3,853.7 m ³	4,201.0 m ³	水使用量の削減	蛇口の閉め忘れ防止を徹底する。	定着した	○
					埃対策として 雨水を溜めて散水用として使用する。	定着していない	×
				☆次年度の取組内容	※節水の意識を心掛けて取り組むこと。 ※雨水を溜めて使用できるように取り組むこと。		
4	受託した産業廃棄物の 収集運搬・処分における 環境配慮	72.1 %	63.1 %	産業廃棄物の再資源化等 の増加	選別作業での再資源化の向上をする。	定着した	△
					搬出先のリサイクル処理場の拡大をする。	定着した	○
				☆次年度の取組内容	※可能な限り再資源化になる搬出先へ搬出できるように、気を緩めずに取り組むこと。		
5	地域・社会貢献	80.9 %	110 %	地域への環境活動	処分場周辺や近隣のゴミ拾いや草むしりをする。	定着した	○
					地域などの清掃活動に参加する。	定着した	○
				☆次年度の取組内容	※地域の清掃活動などに積極的に参加をすること。		

※CO2排出量の削減において、購入電力の排出係数は、リコージャパン(株)2018年度実績(平成30年度)0.489kg-CO2/kWhとする。

※化学物質使用量は、現在、該当品無し。

VIII. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

法規制等の名称	該当する要求事項 (対応すべき事項)	該当: ○	点検・測定頻度、実施時期	順守評価	
				証拠	判定
廃棄物処理法	・委託基準:一廃収集業者の許可の確認	○	・1回/年	許可書	○
	・委託基準:産廃収集運搬・処理業者の許可の確認、契約	○	・契約書許可書につき1回/年	契約書・許可書	○
	・産業廃棄物処分業の許可書	○	・事業内容(許可内容)を参照	許可書の有効期限, 許可範囲	○
	・保管基準 掲示板:60cm×60cm以上表示 飛散・浸透防止・衛生管理	○		現物	○
	・マニフェスト交付 B2・D票90日、E票180日以内に送付されない場合は30日以内の知事への報告	○	・マニフェスト新規交付時又は月末	マニフェスト伝票	○
	・産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出	○	・6月末まで	報告書	○
	・産業廃棄物収集運搬業の許可書 ・自社による運搬時の表示、書類携行	○	・事業内容(許可内容)を参照	許可書の有効期限, 許可範囲 表示・マニフェスト伝票	○
水質汚濁防止法	・排出基準の遵守、水質の保全に関する規制	○	・生活環境項目(15項目)等	記録類	○
	・排水水濃度の測定・記録(3年保存)、監視	○		測定記録	○
浄化槽法	・設置届	○	・新設/変更時の事前届出	届出書	○
	・法定検査	○		水質検査記録	○
	・保守点検及び清掃の実施	○		保守点検記録等	○
騒音規制法	・特定施設の事前届出	○	・新設/変更時の事前届出	新設(有無)	○
	・指定地域別騒音基準の順守	○	・異常音の日常管理	測定記録	○
振動規制法	・指定地域別振動基準の順守	○	・異常振動の日常管理	測定記録	○
消防法	・指定可燃物の扱い:指定可燃物の指定数量の5倍以上の届出(市町村火災予防条例)	非該当			非該当
オフロード法	・基準に適合した特定特殊自動車の使用有無の確認 (バックホウ、フォークリフト、ホイールローダー)	○	・年次点検	表示・点検記録	○
フロン排出抑制法	・第一種特定製品(建設機械用エアコン機器等)・簡易点検及び定期点検の実施	○	・簡易点検	点検記録	○
道路交通法	・アルコールチェック(運行前後)	○	・毎日	ドライバーチェック表	○
	・安全運転管理者				

※産廃業としての水銀の排出はありません。

※順守状況及び違反、提訴等の有無

上記一覧表の通り順守状況を確認した結果、環境関連法規への違反はありません。

尚、関係当局より違反等の指摘は、過去3年間ありません。

IX. 代表者による全体の評価と見直し・指示

環境管理責任者から提供された情報		環境管理責任者は各項目毎に問題点等を判りやすく整理して代表者へ提供する。
①目標の達成度及び環境活動計画の実施状況		目標達成出来なかった項目が、4項目あった。 CO2排出量、軽油使用量、LPG使用量、産業廃棄物の再資源化
(確認文書名) 環境目標一覧表、環境活動計画・実績表		
②法令等の遵守状況		1年間については、適切に運用されており、問題はない。
(確認文書名) 環境法令等一覧表		
③問題点の是正処置及び予防処置の結果		CO2排出量は、軽油使用量とLPG使用量が目標達成できなかった為、それぞれの項目について確認をする。 軽油使用量は運搬で長距離が増えたり車両が増えたので目標値の変更をし様子を見してみる。 LPG使用量は、年間を通してお湯の使用が増えていたので減らせるように努力する。 産業廃棄物の再資源化は、リサイクル先へ搬出できる廃棄物が少なかった。少しでも多くリサイクル先へ搬出できるように努力する。
(文書名) 不適合・是正処置報告書		
④外部からの苦情等の受付結果		外部からの苦情に関する情報はなかった。 社内の意見・提案については、業務運営会議で実施。
(文書名) 環境(社内/社外)情報受付台帳		
⑤法令等の動向		特になし
⑥その他の問題点		特になし
代表者からの環境管理責任者への指示事項	環境方針	変更の必要性 <input checked="" type="radio"/> 有 無
		指示事項 目標値の変更に伴う方針の修正(文言等)も検討して下さい。
	環境目標	変更の必要性 有 <input checked="" type="radio"/> 無
		指示事項 目標達成できなかった理由が努力不足なのか不可抗力なのかで対策が変わります。よく整理しましょう。
	環境活動計画	変更の必要性 <input checked="" type="radio"/> 有 無
		指示事項 特に目標値を変更した項目については、活動の内容が正しいのかを検討して下さい。
	実施体制と環境経営システムのその他の要素	変更の必要性 有 <input checked="" type="radio"/> 無
		指示事項 社内全体的な効率にも視点を置き、努力が実を結ぶよう頑張ってください。